

第14回全国病院事業管理者研修会
テーマ「COVID-19 パンデミック感染後を見据えた将来戦略」

日時：令和4年11月19日（土）10:00～17:00

場所：ホテル ルポール麴町（東京都千代田区平河町）

進行：掛川市・袋井市病院企業団中東遠総合医療センター

1. 世話人挨拶 10:00～10:05
中東遠総合医療センター 企業長兼院長 宮地 正彦

2. 「COVID-19 パンデミック感染、いかに戦い、いかに終わるか」 10:05～12:00
座長：和田 大助、石田 陽一

1) 特別講演

①「東京都八王子市における新型コロナパンデミックとの闘い」 10:05～10:45
医療法人社団永生会 南多摩病院 院長 益子 邦洋

②「COVID19 パンデミックは病院医療に何をもたらしたか
— これからの病院経営を考える —」 10:45～11:35
社会医療法人 名古屋記念財団 理事長 太田 圭洋

〈 質 疑 応 答 〉 11:35～12:00

< 昼 休 憩 >

3. 「地域医療構想の問題点 —回復期病床を有する中小病院の役割—」 13:00～14:40
座長：中川 正久、望月 泉

2) 特別講演

①「地域医療をめぐる最近の動向について」 13:00～13:30
厚生労働省医政局地域医療計画課 課長補佐 松本 千寿

②「中東遠地域における医療連携 ～中小病院の立場から～」 13:30～13:55
公立森町病院 院長 中村 昌樹

③「地域日常圏に立脚する病院の未来」 13:55～14:20
社会医療法人財団 慈泉会 理事長
相澤病院 最高経営責任者 相澤 孝夫

〈 質 疑 応 答 〉 14:20～14:40

< 休 憩 >

4. 「病院と薬局の連携を考える」 15:00～16:50
座長：並木 昭義、宮地 正彦

1)「薬機法改正や診療報酬改定からみた病院と薬局の連携」 15:00～15:30
厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官 安川 孝志

2)「急性期充実体制加算における敷地内薬局の評価をどう考えるか」 15:30～16:00
千葉大学医学部附属病院 副病院長・病院経営管理学研究センター長
・特任教授 ちば医経塾塾長 井上 貴裕

3)「薬剤師不足に悩む地方中核病院と敷地内調剤薬局との連携について」
中東遠総合医療センター 企業長兼院長 宮地 正彦 16:00～16:15

4)「中東遠総合医療センターにおける敷地内薬局の運営について」 16:15～16:30
株式会社アインホールディングス 取締役 開発統括本部長 酒井 雅人

〈 質 疑 応 答 〉 16:30～16:50

5. 総 括 全国病院事業管理者協議会 役員 16:50～17:00